

令和4年7月栃木市教育委員会定例会会議録

令和4年7月栃木市教育委員会定例会を、令和4年7月25日栃木市役所に招集した。

1 本委員会の出席者は、次のとおり

青木 千津子教育長 後藤 正人職務代理 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員
大橋 孝子委員 館野 知美委員 林 慶仁委員

2 本委員会の欠席委員は、次のとおり

本委員会の欠席委員は、無し。

3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり

| | |
|-----------------|-----------|
| 教 育 次 長 | 名 淵 正 己 |
| 参事兼教育総務課長 | 金 井 武 彦 |
| 参事兼学校教育課長 | 金 井 睦 |
| グローバル教育推進室長 | 平 山 裕 |
| 学 校 施 設 課 長 | 國 府 泰 浩 |
| 保 健 給 食 課 長 | 五 十 畑 肇 |
| 生涯学習課長補佐兼生涯学習係長 | 寺 井 正 行 |
| 文 化 課 長 | 奈 良 部 満 |
| 美 術 ・ 文 学 館 課 長 | 加 茂 浩 史 |
| 教育総務課主幹兼教育政策係長 | 木 村 信 孝 |
| 学校教育課主幹兼指導係長 | 古 橋 奈 美 |
| 学 校 教 育 課 主 査 | 佐 藤 奈 央 子 |
| 教科書選定委員会委員長 | 瓦 井 千 尋 |

4 本委員会の署名委員は、次のとおり

大橋 孝子委員

5 本委員会の書記は、次のとおり

教育総務課 主事 飯島 英輝

6 本委員会の会議案件は、下記のとおり

日程第 1 会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議事

議案第 37 号 令和 5 年度使用栃木市立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について

議案第 38 号 令和 4 年度（令和 3 年度事業対象）教育委員会点検・評価報告書について

議案第 39 号 栃木市文化財保護審議会委員の委嘱について

議案第 40 号 栃木市立美術館条例の施行期日を定める規則の制定について

日程第 4 その他

《会 議》

- 教 育 長 — 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —
- 教 育 長 日程第1 会議録の承認について、でございます。6月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様にご配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。
- なしの声 —
- 教 育 長 それでは、会議録への署名をお願いいたします。
- 教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。
- 7月栃木市定例校長会の資料に基づき説明 —
- 1 6月の収穫より(大平南中学校6/13、大平西小学校6/21)
[共同訪問]を通して学んだこと
～教職員を育てる取組の工夫～
・ベテラン教師(再任用者等)の存在に感謝し、その知見や指導技術を若手育成に生かす。
～働き方改革に向けた取り組み～
・校務分掌の均等化・適正化に向けた「分担度数表」の活用による業務改善
～その他～
・授業の中で先生方が積極的にICT機器を使う姿、子どもたちが操作に慣れている姿が見て取れた。先生を子どもたちがフォローしていた。
- 併せて内外教育(令和4年6月10日号)の記事の一部を紹介 —
[6月の学校だより]から
○運動会と「図書室運動会」をタイアップさせた読書啓発の工夫→どちらも色別対抗戦
- 2 “躍動の季節”から、“実りの秋”への橋渡しの時期にお願いしたいこと
(1) 1学期の学びから得た自信や次への意欲が、2学期に確実につながり、更に膨らむことに資する夏休みに
・子どもたち一人一人が、その子ならではの「挑戦したいこと」を明確にイメージし、主体的に取り組めるよう、意図的・具体的な事前の指導・助言をお願いしたい。
(2) 長期休業中だからこそできる職員研修の充実を
・教職員の不祥事防止に資する実効性のある研修に取り組んでいただきたい。
(3) 危機管理、安全管理には万全の備えを
・コロナ感染防止対策はもとより、各校の危機管理マニュアルの中から、長期休業中、並びにこのシーズンならではの留意の必要な事項について、改めて全職員で共通理解を図っていただきたい。同時に、有事に備え、常に家庭や地域、関係機関との連携を密にすることに努めていただきたい。
- 3 おわりに
— 6月25日実施の「栃木市家庭教育講演会・栃木市PTA大学」より「ひび割れ壺」を紹介 —
— 第5回栃木市高校生合同文化祭 企画書に基づき説明 —

教 育 長 ご質問等ございましたらお願いします。
 林 委 員 定年延長の話がありましたが、それは決まったことなのでしょうか。
 学校教育課長 決定しております。今年度末までは60歳定年で変わらないのですが来年度以降
 は2年で1歳ずつ延長されていきます。65歳まで段階的に定年が延長されてい
 きます。
 教 育 長 10年かけて65歳まで延長されていくということです。今後はますます校長先
 生よりも年齢が上の方が学校で勤務されるということが出てきます。
 舘 野 委 員 大平南中学校のハーモニー教室はとても良い取組だなと思っているのですが、今
 現在何名の児童生徒が利用しているのか教えていただきたいです。
 教 育 長 5、6名だったと思います。大平南中学校以外にも栃木西中学校などの中学校で
 は、校内版適応指導教室を設置してしまして、ハーモニー教室や、とまり木教室
 などの親しみやすい名前が付いているのですが、「はばたき教室」などの適応指
 導教室に行かないまでも教室になかなか入れない子が校内で過ごせる時間を増
 やすために各学校で作ってくれているところです。私も校長時代に大平南中学校
 で作ったのですが、子どもたちの居場所づくりとして功を奏したかなと思ってい
 ます。
 教 育 長 日程第3 議事に入らせていただきます。議案第37号 令和5年度使用栃木市
 立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について、を議題といたします。本
 件につきましては、過日、選定委員会委員長より、令和5年度使用栃木市立小中
 学校特別支援学級用教科用図書の選定について、答申されております。まず、そ
 の内容について、選定委員長よりご報告していただきます。それでは、教科書選
 定委員会委員長、よろしくをお願いします。
 選定委員会委員長 〔説明要旨〕
 令和5年度に使用する栃木市立特別支援学級用教科用図書について、一覧のとおり
 選定した旨説明。
 教 育 長 ただ今、ご報告がございました答申を踏まえまして、今回、議案を提出させてい
 ただきました。それでは、議案についての説明を、事務局をお願いします。
 学校教育課長 〔説明要旨〕
 令和5年度に使用する小中学校特別支援学級用教科用図書について、地方教育
 行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により採択を求める旨
 説明。
 教 育 長 それでは、小学校及び中学校の特別支援学級用教科用図書について、審議してま
 いりたいと思います。小・中学校の特別支援学級用教科用図書について、併せて
 の審議とさせていただきます。これらの特別支援学級用教科用図書を採択するこ
 とについて、何かご意見等ございましたらお願いいたします。
 福 島 委 員 昨日の下野新聞の雷鳴抄に、教科書や教育は一体誰のものかということが書かれ
 てありました。その中で「教育と愛国」というドキュメンタリー映画が紹介され
 ていまして、なかなかこういった映画は普通の映画館では上映されないのですが、
 たまたま小山市の映画館で上映されていたので観てきました。非常に心打たれる
 というか、少しでも教育に携わる方は観るべきだろうと思いました。特に歴史の
 教科書について、慰安婦問題であったり、強制労働であったり、これらの問題が

非常に深く掘り下げられていましたし、安倍元首相もたくさん出てきました。要するに国が決めたことを、我々が押し付けられた形で教科書採択とか、そういったことをしているのかという問題提起をされていました。やはりそういったことを考えると、雷鳴抄で書かれていたように、我々は誰のための教科書かを真剣に考えて、こういった場で議論しなくてはならないのではないかと改めて思いました。教科書選定委員会には1回しか参加できなかったのですが、採択しようという教科書を拝見させていただいて、恐らくこれを選ばれた方々は、たくさん子どもたちを思い浮かべながら、この教科書で子どもたちを教えたいという思いで決められたのだらうと思いました。そこはやはり教科書採択する上での原点なのだらうと改めて思いました。教科書を見たときに、非常に楽しいというか、色彩も豊かで学びやすいものであると感じました。子どもたちにとっても、楽しく学べる教科書であるという印象を持ちました。選定自体は非常に良かったかなと思います。やはりそういった姿勢を持って、教科書を選ぶべきだらうと思いました。

教 育 長

委員の1人としての感想ですが、子どもの実態にあったものという方針を設けているということで、私も選定されたものを見ましたけれども、子どもの実態をよく考えながら選んでいただいたということを感じました。

林 委 員

出席されていない委員の方がいらっしゃるので情報共有をしたいと思います。中学校の教科書で供給不能になり5冊削除したいものがあるとありますが、採択される教科書が4冊で理科の教科書が足りないのおかしいと思っていたら、選定委員の方が質問をされていました。教科書ではなく資料集なので、タブレットを活用して情報を入手できるため大丈夫だそうです。

教 育 長

ありがとうございます。

大 橋 委 員

私も教科書選定委員会に1回だけ出席したのですが、調査研究の方針を読んで、その通りであると思いました。それに則って調査員や選定委員の先生などが、審議を重ねていただいた結果の答申ですので、私はこれに賛成いたします。内容的にも支援学級に在籍する生徒は能力も様々であると思うので、その子たちが楽しく主体的に学べるという観点から考えると、どれもいい教科書だと思いました。いろいろな子どもがいて能力も違うと思いますが、どちらかという遅れている子どもたちに向けた教科書だったので、能力的に高いけれども教室に行けない子ども達などに向けて、もう少し何かあるといいのかなと感じました。

教 育 長

貴重なご意見として受け止めさせていただきたいと思います。通常の学級で使用している教科書も選ぶことができますし、それを少し易しくした星本と言われる文科省著作本というものから選ぶこともできますが、一般本の中にも、もう少しレベルの高いものが含まれていてもいいのかなというご意見ですね。ありがとうございます。

後 藤 委 員

教科書の考え方を大きく変えたものがあります。それが平成元年に新しい教科として誕生した生活ですね。これは小学校1、2年生が使うものですが、教科書を見ますと、今までの教科書観を打ち破るようなもので、とにかく見ていて楽しい、早くやりたくてしょうがない、教科書に直接書いたり、コインで擦ると文字が出てくるような仕掛けがあったり、百科図鑑的な要素があったり、それからカラー写真がふんだんに使われています。そういった教科書を生活科で作ったわけです。

これは他教科の教科書観を大きく変えるきっかけになりました。それから、一冊のサイズも大きくなり、重さも重くなったわけです。要するに、見ていて楽しいということの根底にあるのは、限りなく子どもに寄り添ったものであることの具体的な現れだと思います。子どもたちが見て楽しい、その上で先生方が指導しやすい。教科書を見ているだけでもいろいろな情報や、いろいろなアイデアが盛り込まれていて、教科書を見ているだけでも楽しくなってしまうというものに変わりつつあるのではないかと思います。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 会議は原則として公開することになっておりますが、本件の審議後の議決部分を、栃木市教育委員会会議規則第16条ただし書に基づく、秘密会にすることについて、委員の皆さんにお諮りいたします。議決部分について、公開しないことに、賛成の委員は挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

全員、「賛成」でありますので、議案第37号の採決に関する部分は、栃木市教育委員会会議規則第16条ただし書に基づく、秘密会といたします。

《 秘密会 》

教 育 長 これをもちまして、特別支援学級用教科用図書採択に関する採決を終了します。ここで暫時休憩いたします。10分後の10時25分に再開いたします。

《 10時23分より 》

教 育 長 時間より少し早いのですが、全員お揃いのようなので再開させていただきたいと思えます。議案第38号 令和4年度(令和3年度事業対象)教育委員会点検・評価報告書について、を議題といたします。教育総務課長より説明をお願いします。

教育総務課長 [説明要旨]

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検評価委員の意見を踏まえ、教育委員会において点検及び評価を実施するので、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することについて議決を求める旨説明。

教 育 長 事務局より説明がありましたように、これより教育委員会としての評価を単位施策ごとに実施して行きたいと思えます。事務局でまとめました報告書案の点検評価委員の意見等を参考にしながら進めてまいります。報告書(案)3ページ下段をご覧ください。教育委員会の評価につきましては、(5)二次評価のとおり、SからDまでの5段階評価となります。Sは計画以上のレベルに達している、Aは順調、Bは概ね順調、Cはやや遅れている、Dは遅れているということでございます。ここで、SからBの表現について、改めて共通理解を図らせていただきたいと思います。計画通りに進んでいたらB、それよりややレベルが高ければA、大幅にレベルが高ければSというように捉えていただければと思います。C及びDに関しては、ご覧のとおりです。それでは、単位施策1『確かな学力の育成』

について、教育委員会としての評価を実施いたします。委員の皆様におかれましては施策に対する評価、そして理由等について、ご発言を頂戴したいと思います。項目が多いため1施策5分程度でまとめられたらと思っております。時間の限りもございますので、是非ともたくさんのご発言をお願いいたします。意見が少ない場合には私の方から指名させていただく場合もございますので、ご了承いただければと思います。では、本施策に対する評価やその理由等を、ご発言願います。そして最終的には、多数決によりまして評価をさせていただきたく思います。

福島委員

評価としてはBだと思っています。特に、小・中学校英語教育事業については、やはりALTの問題がありますので、それは今後の課題として残しておくというか、努力義務が当然あると思いますので、その部分については、若干遅れているのでc評価ですが、学力向上事業や学校指導訪問事業については非常に効果をあげています。放課後教室も効果をあげていますし、学校訪問についてもコロナ禍にもかかわらず非常に多く開催されていて、学校側も非常に助かっていると思いますので、この事業に関してはa評価だろうと思います。総合的に判断するとA評価とc評価でプラスマイナスゼロになってB評価かなと思います。

教育長

小・中学校英語教育事業につきましては、どうしてもALTの数が他市町と比べて充足率が低いということが今後の、大きな課題であると捉えさせていただいてよろしいですか。

福島委員

はい。

教育長

他に福島委員さんのご意見に対するご意見でも結構ですし、また違う視点からでも結構ですので、ぜひとも教科書採択の時と同様に、積極的なご発言を願えればありがたいです。

大橋委員

先ほどのALTのお話なのですが、やはり他市町に比べて配置人数が少ないということについては、もっと増やす努力をする必要があるかと思っています。先日、自分の仕事の関係で小学校の英語の勉強をしてきたのですが、その時に他の市町が使っている教科書と栃木市の教科書と見比べる機会がありました。その時に驚愕したのが、宇都宮市とかで使っている教科書は小学校でも英文がたくさん載っているのですが、栃木市で使っている教科書はイラストや単語は豊富なのですが、英文という英文がほとんどありませんでした。その教科書を使って勉強していった場合に、果たしてそれが小学生時点で適切かどうかはともかく、中学校、高校と上がっていったときに差は出てこないのだろうかということは、正直感じたところがありました。教科書を選定する際の問題にも繋がってくると思うのですが、あまりにも差があるように感じました。扱っている内容はほぼ一緒だと感じましたが、この教科書に出てくる英語の量は他市町のものや栃木市のものを比べると、感覚ですけど8対2の感じでした。そのぐらい違ったので、代わりに何か副教材を使って学習しているのかなど、そういったことまで少し考えてしまいました。そういうことも考えると、なるべく他に遅れを取らないような対応を、栃木市としてやっていく必要があるかなと感じましたので、やはりALTのことは、c評価でいいのかなと思いました。他の部分については、当日の点検評価委員会に出られなかったもので、具体的なことは分からない部分もあるのですが、概ね順調ということでもいいかなと思います。最終的な評価は少し考えます。

教 育 長 採決まで考えていただければと思います。大橋委員のご意見は、来年度の小学校用教科用図書のときの議論になるのかなと思います。本市は興味、関心、コミュニケーションへの意欲、英語学習への意欲を引き出すということに軸足を置いております。知識・技能、例えば単語をたくさん覚えさせたいなど、どこに軸足を置くのかというところでまた違ってくると思いますので、またその議論については、次年度に十分に皆様とさせていただければと思います。また、栃木市のALTの名誉のために申し上げますと、数は少ないですが、一人一人が非常に人間味溢れていて、子ども達に対してとてもいい指導をしてくれています。少ない割に頑張ってくれているということは、お伝えしたいと思います。ただ、数的にはやはり学校数対人数という観点から見ると、下都賀管内でも本市の状況は残念な状況であることは、数字が現わしておりますので、課題として残すということでしょうか。他にいかがでしょうか。

後 藤 委 員 ALTの人員の増加というのは大事な課題になるのですが、その中でやはり優秀なALTの方がいるかどうかですね。ただ、増やせばいいということではないので、そういったことは今後の課題として取り組んでいただきたいと思います。他市町の様子を見たときに、本市は中身はとても良いものを持っていると思います。現在の体制では、あまりにも子どもに寄り添った対応がなかなかしにくいですよ。ただ一方では、学力向上事業やふるさと学習の推進という点では、私は非常に素晴らしい取り組みで、それなりの成果が現れていると考えております。私としてはA評価と考えています。

教 育 長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

館 野 委 員 放課後教室への参加がとても増えていて、実際に保護者の方たちも、自分の子が放課後教室に行くことで、意欲的に通えていてとても嬉しいという声を聞いたりするので、その事業の達成度が目標よりもかなり上回っているので評価するべきだと思います。ALTの問題ですが、様々な規模の学校があるので難しい面もあると思います。ただ、学校の中にいることで、とても良い効果が出ているという話もあったので、是非実現できたらいいなと思いました。総合的に判断するとB評価でお願いしたいと思っています。

教 育 長 ありがとうございます。これまで出たご意見以外で、何かご意見のある方はいらっしゃいますか。

林 委 員 ALTの問題で点検評価委員会の方が話しているなかで、日本人でもいいのではないかというお話が出てきたことがあります。私もそれは賛成で、高校の先生や中学の先生、リタイヤした先生方が、英語しか喋らないような状態で入ってくれば、ALTと変わらないのではないかという感じがありますので、イレギュラーな形でしょうけど、必ずしもネイティブでなくてもいいのではないかなと思います。ただ、耳が大事ですから、やはりなるべく小学生にはネイティブの方に行っていただいて、耳を作ってもらうのが大事なのではないかと思います。

教 育 長 ありがとうございます。ご意見として頂戴したいと思います。それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 後藤委員挙手 —

教 育 長

B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 福島委員、西脇委員、大橋委員、館野委員、林委員挙手 —

教 育 長

「B」が多いようです。「B」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長

それでは単位施策1の『確かな学力の育成』についての評価は「B」といたします。次に、単位施策2『豊かな心及び健やかな体の育成』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

福 島 委 員

重点事業のスクールソーシャルワーカー配置事業の一次評価がb評価になっていますが、スクールソーシャルワーカーの人数が少ないというだけであって各学校にとってのスクールソーシャルワーカーの存在というのは、とても大きくて、非常に助かっているという意見も非常に多いです。適応指導教室運営事業についても、非常に助かっているという学校の意見もあります。こういったことを総合的に評価すると、この事業は学校給食の調理場もそうですし、食育の問題もそうですし、非常に効果をあげていると思います。これは全部がA評価で、私は総合A評価でいいと思います。

教 育 長

どの項目も効果をあげているというご意見でございました。他にいかがでしょうか。

館 野 委 員

適応指導教室に通われている生徒の数をお伺いした時に、実際に不登校の生徒の数よりも、だいぶ少ない数の生徒しか利用していないということでした。学校に行けない多くの生徒がとまり木教室やハーモニー教室のようなところで過ごせるような取り組みというのが、多分この中にも入っていると思います。そういうところに期待したいということと、ここでする話ではないかもしれませんが、ぜひ適応指導教室ではない名前にしていただきたいと強く願っています。スクールソーシャルワーカーの方の労力はとても大きいので、なんとか人数を増やして対応していただきたいと思っています。

教 育 長

数という点で課題があるということですね。

館 野 委 員

数を増やせばいいということではないかもしれませんが、案件もとても多いので、ぜひ人数を増やして対応していただければと思います。評価については、A評価かB評価か思案中です。

教 育 長

ただいまご意見のあった適応指導教室の名称については教育委員会としても検討中でございます。他にいかがでしょうか。

西 脇 委 員

給食のことにに関して地産地消であるとか、センターの設備も良くなったということで良いことだと思います。適応指導教室に関しても、多くの生徒さんが利用されているようなので今後に期待をしたいと思います。A評価をお願いします。

教 育 長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

大 橋 委 員

適応指導教室なのですが、復帰率が59.5%ということで、これは高いのかなとは思いますが、適応指導教室に通えていない不登校の生徒も多数いるということも考えると、来ている子たちの復帰率を上げることが目標なのか、それとも、学校に行けていない子たちの居場所を作るのが目標なのかによって、その評価の

考え方は変わってくると思います。この事業に関して言うと、復帰率について評価を考えていけばいいのでしょうか。全体の復帰率とは違うということですよ。学校に行けておらず、適応指導教室に通えていない子たちもいるということですよ。

教 育 長 そうですね。校内の適応指導教室のようなものに通えている子もいれば、そうでない子もいます。

林 委 員 不登校児の問題でフリースクールの話があったと思います。知り合いの1人が経営していて大変そうなのですが、補助的なものやフリースクール同士で意見交換の場が欲しいということでした。全ての生徒を適応指導教室でフォローできると思いませんので、漏れたところをそういったところでフォローしていただいているということもありますから、その辺りのところも行政として、目を向けていただきたいという気持ちがあります。

教 育 長 ありがとうございます。

館 野 委 員 適応指導教室の復帰率についてなのですが、復帰を目指すものではないという考え方が中に入ったと思います。単位施策の指標は出さなければいけないと思うのですが、この項目をぜひ次回は、変えてもらえるとありがたいです。

教 育 長 確かに、復帰を第一義として、それだけを目指してということではないという流れに国としてもなっておりますので、やはりそれに関しましても、今後の課題として検討させていただきたいと思います。それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 後藤委員、福島委員、西脇委員、林委員挙手 —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 大橋委員、館野委員挙手 —

教 育 長 「A」が多いようです。「A」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは単位施策2の『豊かな心及び健やかな体の育成』についての評価は「A」といたします。次に、単位施策3『魅力ある教育環境の充実』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

福 島 委 員 私はA評価だと思っています。コミュニティ・スクール事業については、どうしてもコロナという抗いがたい事象があるので、なかなか実現は難しかったと思います。点検評価の先生方からの意見もありましたけれども、逆に教育研究所運営事業などは、災い転じて福ではないですが、全部のものをICTを利用して見ることができるといった、非常に大きな成果が得られたのではないかと思いますし、インターネットバンキングについても、やはり事務の適正化というか簡易化というか、そういったところで非常に大きな効果を発揮しているのではないかと思います。また、ICTを導入するにあたり、教育長も一生懸命努力して下さって、フィルタリングソフトを導入していただきましたけど、やはり一人一人が努力したからこそ、こういった状況を作れたわけですので、評価すべきであると思って

います。A評価でお願いします。

教 育 長
後 藤 委 員

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

学校運営協議会ですが、やはりコロナ禍の中であって、この学校運営協議会どうなるのかなという思いがありましたけど、非常に工夫した取り組みの結果、かなり学校運営協議会が充実していると私は感じますし、そういう声をいくつか聞いております。そういった意味で、他のところもそうなのですけれど、A評価ということで、私は考えております。

教 育 長

福島委員の先ほどのご意見として、コロナ禍ということであっても教育研究所の取り組みが、かえって全員の先生が何回も見られるという瓢箪から駒のような効果があったということです。また、後藤委員がおっしゃられたようにコロナ禍の中でも工夫をしながら運営協議会を充実させている様子が見て取れるというご意見がありました。重点事業の数が多いので、どこから切り込んでいただいても構いません。他にいかがでしょうか。

林 委 員

小中学校コンピュータ管理事業のGIGAスクール構想でネットワーク環境が整ったということは、栃木市が先んじてなさっていたということだと思うのですが、先日学校を訪問させていただいて感じたのは、利用している学校としていない学校に差があるということです。教育委員会として基本的に行っているのは管理だけだと思いますが、学校ごとの活用状況に差がある場合もあるような気がします。あの学校は使っているけれど、うちの学校は使っていない、不平などが出ないのだろうかという気もしないではないです。オンラインという点で言えば教育研究所のオンデマンドはよろしかったと思います。ただ、まだ隅々まで使っていない感じはします。

教 育 長

使用状況に差があるのかなというところですね。

林 委 員

はい。

教 育 長

それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長

A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 後藤委員、福島委員、西脇委員、館野委員挙手 —

教 育 長

B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 大橋委員、林委員挙手 —

教 育 長

「A」が多いようです。「A」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長

それでは単位施策3の『魅力ある教育環境の充実』についての評価は「A」といたします。次に、単位施策4『一貫性のある教育の充実』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

福 島 委 員

この一貫性のある教育については、多分人と会えないということの影響が非常の大きい事業だと思います。先日、池上彰さんの講演会を聞いたときに、コロナが明けて一番良いことは、人と会えることだとおっしゃっていました。メディアを通していろいろなことを見ても一方通行でしかありません。しかし、人と会うと、

やはりその話だけではなく派生していろいろな話ができます。それがとても大切だと仰っていました。一貫性のある教育の中で人と会えること、要するに先生同士が会うこと、子どもたち同士が会うこと、そういったことが非常に重要なキーワードになると思っています。そういった意味では、確かにICTを利用して研修をしたり、交流をしたりということもあったかもしれませんが、それは限定的なことであって、事業としての効果は得られなかったのではないかなと思いますので、やはりこれはコロナの収束を待って、事業を展開していくことだと思います。私は、とりあえず今回は概ね順調、要するにコロナの影響がなければ進んでいたのだろうということだろうと思いますのでB評価です。C評価というとなかなか厳しい部分もあるので、今後に期待を込めてB評価でいいと思います。

後藤委員

栃木市はですねご存知のように大学があり、高等学校があり、中学校があり、幼稚園や保育園がありということで非常に学校施設の集まっている場所なわけですよ。そういう中で、義務教育9年間の小中一貫教育を軸としながら、幼保小中高大連携ができる素晴らしい地域だと思います。例えば、國學院大學栃木短期大学でも、この幼保小中高大連携を積極的に今までやってきたのですが、これは点検評価であって昨年の取り組みの評価っていうことですから、昨年はコロナの影響でほとんど中止になってしまったということなので、気持ちの中ではA評価と言いたいところなのですが、コロナということで、非常に厳しい状況の中であってできなかったということなので、グランドプランがしっかりしていますから、コロナ禍が明ければそれをぜひ推進をしていただきたいと思います。私はそれが栃木市の特徴だと思っています。B評価ということで考えております。

教育長

どうしてもコロナの影響を大きく受けた事業の一つだというご意見でございました。確かに学校の校長先生方に聞いても、計画通り合同研修ができなかったり、集まれなかったりということがあったという話は、私も耳にしております。

西脇委員

やはりコロナのせいでうまくいかなかったことが多いと思います。コロナが無ければうまくいっていたと思うので、今回は仕方がないのでB評価だと思います。

教育長

今概ねB評価というご意見がございましたが、他にご意見等ありますでしょうか。
— 意見無し —

教育長

それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。
— なし —

教育長

A評価だと思われる方挙手をお願いします。
— なし —

教育長

B評価だと思われる方挙手をお願いします。
— 全員挙手 —

教育長

全員「B」ですので単位施策4の『一貫性のある教育の充実』についての教育委員会の評価は「B」といたします。次に、単位施策5『生涯学習環境の充実』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

舘野委員

コロナ禍のなかアシストネット事業が最初の頃は進まなかったと思いますが、徐々に開催され始めて、地域と学校との連携がとてもよく図れていると実感し

ています。評価については概ね順調ということでB評価です。

教 育 長
大 橋 委 員

他にいかがでしょうか。

アシストネットについてなのですが、やはりコロナのためにできなかったことも多くあると思いますが、だからこそ事業そのものはできなくても、その間に人材を発掘するなど、別の部分でできたこともあるのではないかと考えます。いつも厳しい目線になってしまい申し訳無いのですが、やはり自分の教える子どもたちが通っている地域で考えると、アシストネットの実感がそんなにありません。登下校の見守りなど、そういったことに関しては、たくさんの方がやって下さっているなと思いますが、それ以外の部分ではやはり、もっと人材を発掘するなど、そういったことが必要なのではないかと思います。また、コーディネーターの方に関してもずっと同じ方がやっていて、良い部分もありますが、逆に限界を生むような気もします。やはり全ての事業に関して年々良くなっていかなければいけないと思います。やりすぎて苦しい状態になることは避けたいと思いますが、より良くなるようにしていかなければいけないのではないかと思いますので、評価はB評価とさせていただきます。

教 育 長

人材発掘においては世代交代も視野に入れて行うということですね。それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長

A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長

B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長

全員「B」ですので単位施策5の『生涯学習環境の充実』についての教育委員会の評価は「B」といたします。次に、単位施策6『生涯学習機会の充実』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

館 野 委 員

家庭教育学級の参加率が低くなっている中で、家庭教育学級をやる時間も短縮されたりしているので、参加率の向上とともに内容の充実も図っていただけるとありがたいです。やはりそこで保護者さん同士の交流があれば、学校に入ったときのトラブルも少しは解消でき、先生方の負担を減らすなど、何かいい効果が生まれるのかなと思っています。それらを踏まえ、B評価でお願いします。

教 育 長

家庭教育学級の参加率の向上と内容の充実を求めるということですね。他にいかがでしょうか。

福 島 委 員

点検評価委員の意見の中で、公民館で行われる講座が点検評価の対象では無くなったということで、情報が欲しいという意見があったかと思うのですが、やはり生涯学習というものは、何課がやるから、この課がやるからと区別するものではなくて、やはり将来に渡って学んで行くことを管轄していくものであると思います。課が移ったものについても、こういった講座がありましたということで、点検評価をする場がないと今後に繋がっていかないと思うので、確かに最もだなというふうに思いました。講座についての評価を点検評価の中で、継続的にやってもいいのではないかと思います。吉川先生のサイエンススクール等も、厳しい

状況の中開催したということ、あるいは他の理科クラブなど、そういったところも回数は減りましたが、実施する意欲であったり、実施したという実績を踏まえて、私はある程度評価すべきだと思います。コロナがなければA評価になるだろうと思いますので、A評価でもいいのではないかと思います。

林 委 員 科学する心を育む推進事業について、サイエンススクールが年間7回開催されていると思うのですが、科学はとても大切なことだと思いますので、これは私の希望なのですが、もう少し増やして頂きたいです。予算26万円ですけど、10倍くらいに増やして頂いても良いのではないかと個人的な意見ですが思います。全体的にはB評価とさせていただきます。

教 育 長 それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 福島委員、西脇委員挙手 —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 後藤委員、大橋委員、館野委員、林委員挙手 —

教 育 長 「B」が多いようです。「B」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは単位施策6の『生涯学習機会の充実』についての評価は「B」といたします。次に、単位施策9『文化芸術活動の推進』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

福 島 委 員 美術館についてはこれからですけど、文学館も開館に漕ぎ着けましたし、やはりこれは大きな成果だと思っています。今後こういった形で集客をしていくかなど課題はありますが、文化振興計画もきちんと作成していることも含めて、今年度の事業についてはA評価だと思います。

教 育 長 コロナ禍でいろいろな材料が調達できないような状況もある中で開館に漕ぎ着けたところを高く評価されたいということですね。

館 野 委 員 文学館や美術館などの施設で行う文化芸術作品だけではなくて、各学校の取り組みというものはここに入っていたりしますか。本当に予算を本当に10倍ぐらいにして、全ての子どもたちが良い文化に触れる事業ができることを期待しています。わざわざ出かけなくても学校で体験したり、学校でワクワクドキドキしたりするなど、子どもたちの心を育むような事業が、展開できたらとても嬉しいなと思っています。評価としてはB評価です。

西 脇 委 員 個人的にはやはり開館に漕ぎ着けたということに驚きました。コロナ禍の中で大変だったと思います。できれば、もっと目玉になるような作品が欲しかったなというようなわがままも思ってしまいましたが、今後いろいろな作品を展示して、集客できたらと思います。評価としてはA評価です。

大 橋 委 員 今回に関しては重点事業が準備事業ということですので、それに関してはしっかりと段階を追って開館まで漕ぎ着けられたということで、A評価でいいかなと思います。もちろん今後運営していく中での課題や、学校教育に還元していくこと

- に関する課題は出てくると思うのですが、現段階ではA評価だと思います。
- 林 委 員 文学館開館準備事業の中で、学芸員さんの公開講座があると聞きました。大変よろしいと思います。子どもたちは長い文章を書く習慣が無いようですから、より長い文章や良い文章に触れて、発想が型にはまらないようにしていきたいので、もう少し広めていただきたいという願いがあります。あとは既に皆さんがおっしゃったように、開館に対する評価は高くしています。A評価です。
- 後 藤 委 員 蔵の街のところを車で走ったりすると、よく小学生が首からいろいろなものを下げて、町探検ですかね、校外学習をしているのをよく見かけます。やはりせっかく多額な費用を使って文学館、それから美術館を開館するわけですから、栃木市で学んでいる子どもたちが入って行って学習できるような、子どもたちの関心があるような展示の工夫というのも、これからされていくといいのではないかなと思いますね。見た感じなのですが、開館してから数週間は結構いろいろな方々が来ているというのは駐車場の車を見て分かったのですが、その後は駐車場整理の方が椅子にずっと座ってしまっていて、昼寝をしていました。今はそれくらいお客さんが少ないということですから、やはりまずは地元の子供たちが活用できるという視点を大事にしていきたいと思います。私はB評価です。
- 教 育 長 それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。
- なし —
- 教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。
- 福島委員、西脇委員、大橋委員、林委員挙手 —
- 教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。
- 後藤委員、館野委員挙手 —
- 教 育 長 「A」が多いようです。「A」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。
- 異議なし —
- 教 育 長 それでは単位施策9の『文化芸術活動の推進』についての評価は「A」といたします。次に、単位施策10『歴史文化の保護と活用』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。
- 福 島 委 員 これはやはり息の長い事業だと思うので、すぐに大きな成果が得られる事業ではないですが、コツコツと積み上げて行って、いつか西方城であったり、二条城であったり、皆川も含めて、そういった歴史が紐解かれる日が本当に来ればいいなと思います。ですからやはりそういった地道な事業をきちんと評価すべきだと思います。概ね順調ということでB評価ということでお願いします。
- 教 育 長 福島委員は概ね順調ということでB評価ということでございます。何年間かけて行われている事業の令和3年度についてということですので、やるべきことは概ねやったのではないかと私も委員の1人として思います。
- 後 藤 委 員 栃木市は地面を掘ればたくさん遺跡が出てくるとよく言われておまして、遺跡の発掘に関心のある高名な方々はですね、栃木市に来ることを非常に楽しみにしていると聞いたことが何度もあります。そのように栃木市というのは、本当にその歴史文化が埋蔵しているという非常に魅力的な市であるし、現時点で栃木市

や栃木県のいろいろな助成金を受けて、毎年栃木市の子どもたちも一緒に加わって発掘作業をしています。昔々のものを発掘するのですが、非常にそこから自分たちの地域は、昔はこうだったというロマンあふれるイメージを子どもたちが抱いて、そういう視点からもやはり自分たちの住んでいる栃木市は素敵な場所だなということを感じるような体験を毎年今していますよね。ぜひこういうことは続けていっていただきたいと思います。同じ短期大学で働く先生方も私もいろいろな遺跡に夏休み何度か行って、一緒に発掘作業を手伝ったりしていて、それが楽しみです。そういうことで私はA評価でいいのではないかなと思っています。

教 育 長 それでは採決に入らせていただきたいと思います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 後藤委員挙手 —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 福島委員、西脇委員、大橋委員、館野委員、林委員挙手 —

教 育 長 「B」が多いようです。「B」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは単位施策10の『歴史文化の保護と活用』についての評価は「B」といたします。ここで確認をさせていただきます。単位施策1『確かな学力の育成』が「B」、単位施策2『豊かな心及び健やかな体の育成』が「A」、単位施策3『魅力ある教育環境の充実』が「A」、単位施策4『一貫性のある教育の充実』が「B」、単位施策5『生涯学習環境の充実』が「B」、単位施策6『生涯学習機会の充実』が「B」、単位施策9『文化芸術活動の推進』が「A」、単位施策10『歴史文化の保護と活用』が「B」でございます、以上で、単位施策ごとの評価を終了いたします。本議案の全体を通して何かご意見等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、議案第38号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第38号について、可決いたします。

教 育 長 次に、議案第39号 栃木市文化財保護審議会委員の委嘱について、を議題といたします。文化課長より説明をお願いします。

文 化 課 長 [説明要旨]

栃木市文化財保護審議会の委員の任期が令和4年7月31日をもって満了となるので、新たな委員を委嘱することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長 議案第39号について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

林 委 員 再任の先生で申し上げますと船木先生、宇都宮高校教諭とありますが、学校の先生が入ってくるのは珍しいと思いますが、この先生が入ってこられた経緯はどのようなものでしょうか。

文化課長 船木先生に最初にお願いしたのは平成22年5月ということで10年以上お勤めただいております。専門といたしましては歴史資料に明るいということでその分野についてご意見を頂戴しております。10年以上前のことですので詳しい経緯については申し訳ないのですが分かりません。

教育次長 確かなことを確認したわけではありませんが、県立博物館に勤務している学芸員の方は元高校の先生の方が多くて、名簿の中に他にも2名の元高校の先生がいらっしゃいます。高校の先生の専門性を持った方が学芸員として博物館に行ったり来たりしている部分も含めまして、そのような形になっているのではないかと考えています。

林委員 わかりました。

教育長 他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教育長 それでは、議案第39号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教育長 異議なきものと認め、議案第39号について、可決いたします。

教育長 次に、議案第40号 栃木市立美術館条例の施行期日を定める規則の制定について、を議題といたします。美術・文学館課長より説明をお願いします。

美術・文学館課長 [説明要旨]
 栃木市立美術館の供用開始予定日が決まったことから、同条例の施行期日を定めるため、栃木市立美術館条例の施行期日を定める規則を制定することについて、議決を求める旨説明。

教育長 議案第40号について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教育長 それでは議案第40号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教育長 異議なきものと認め、議案第40号について、可決いたします。

教育長 次に、日程第4 その他に入ります。事務局から何かありますか。

教育総務課長 — 令和4年度栃木市教育振興大会について資料に基づき説明 —
 — 令和4年度教育委員学校訪問日程について説明 —
 — 教育委員へ教育委員会だより第21号の記事について説明 —

教育総務課主幹 以上の3つのことについてご質問等ございますか。

教育長 学校訪問では給食などは無いですか。

福島委員 コロナ禍ということでまだありません。残念ですがもう少し我慢をしていただければと思います。他に質問等ございますか。

教育長 — 質問なし —

教育長 以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。それでは、これをもちまして本日の定例教育委員会を閉会といたします。

—— 午前11時36分委員会の閉会を宣した。——

令和4年7月25日

教育長

署名委員